

平成30（2018）年度 入退院支援連携デザインに係る研修
<多職種研修：地域住民への普及啓発～ACPについて～> 開催要項

1. 目的： 入退院支援連携に係る在宅医療と介護の連携体制の構築に向けた先駆的事例（自治体・医療機関）から効果的な実践を学ぶ。
2. 主催：沖縄県
一般社団法人 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
3. 対象：市町村職員、地域包括支援センター職員、医師会コーディネーター、
認知症コーディネーター、生活支援コーディネーター、
社会福祉協議会職員、医療ソーシャルワーカー・退院調整看護師等
4. 定員：90名
5. 日時：平成30（2018）年09月22日（土）13：30～17：00
6. 場所：沖縄県教職員共済会館八汐荘 4階中会議室
那覇市松尾1丁目6番1号、098-867-1191
7. 講師：
講演①「医療機関における地域包括ケアシステム構築の実践事例」
岡村 紀宏氏（社会医療法人恵和会西岡病院：医療福祉課課長、医療ソーシャルワーカー）

札幌市にある西岡病院は、平成26年度厚生労働省の「人生の最終段階における医療体制整備事業」に北海道内から唯一参加したのを機に、冊子を作成し病院を挙げてACP普及に取り組んでいます。医療機関がどのように院内や地域でその実践・普及を行っているか、具体的な展開や医療機関主導のメリット・デメリットについて学びます。

講演②「市町村（医師会）における地域包括ケアシステム構築の実践事例」
黒木 信之氏（一般社団法人名古屋市医師会：スーパーバイザー、医療福祉専門官）

名古屋市は名古屋市医師会に「在宅医療・介護連携支援センター」を設立し、在宅療養環境のサポートを行っています。16行政区全てに担当者を配置し、各行政区職員と協働し「区民のつどい」等でACP普及に取り組んでいます。医師会スーパーバイザーとして自ら区に出向き、パワーポイントや指人形等、住民に合わせて媒体を工夫した普及啓発活動を紹介します。
8. 参加費：無料

9. プログラム :

13:00~13:30 (30分)	受付
13:30~13:40 (10分)	開会挨拶 (主催者: 沖縄県高齢者福祉介護課) オリエンテーション
13:40~14:40 (60分)	講演①
14:40~14:50 (10分)	休憩
14:50~15:50 (60分)	講演②
15:50~16:00 (10分)	休憩
16:00~16:50 (50分)	質疑応答・ディスカッション
16:50~17:00 (10分)	開会挨拶 (主催者: 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会) アンケート記載

【お問い合わせ先】

一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
沖縄県入退院支援連携デザイン事業 事務局

〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目373-1

沖縄県総合福祉センター 2階 小規模団体室

Mail: jim.msw.oaswhs@gmail.com

〒902-8511 那覇市古島2-31-1 那覇市立病院 医療福祉相談室 (樋口)

TEL: 098-884-5111 (内線127)

Mail: soudan@nch.naha.okinawa.jp